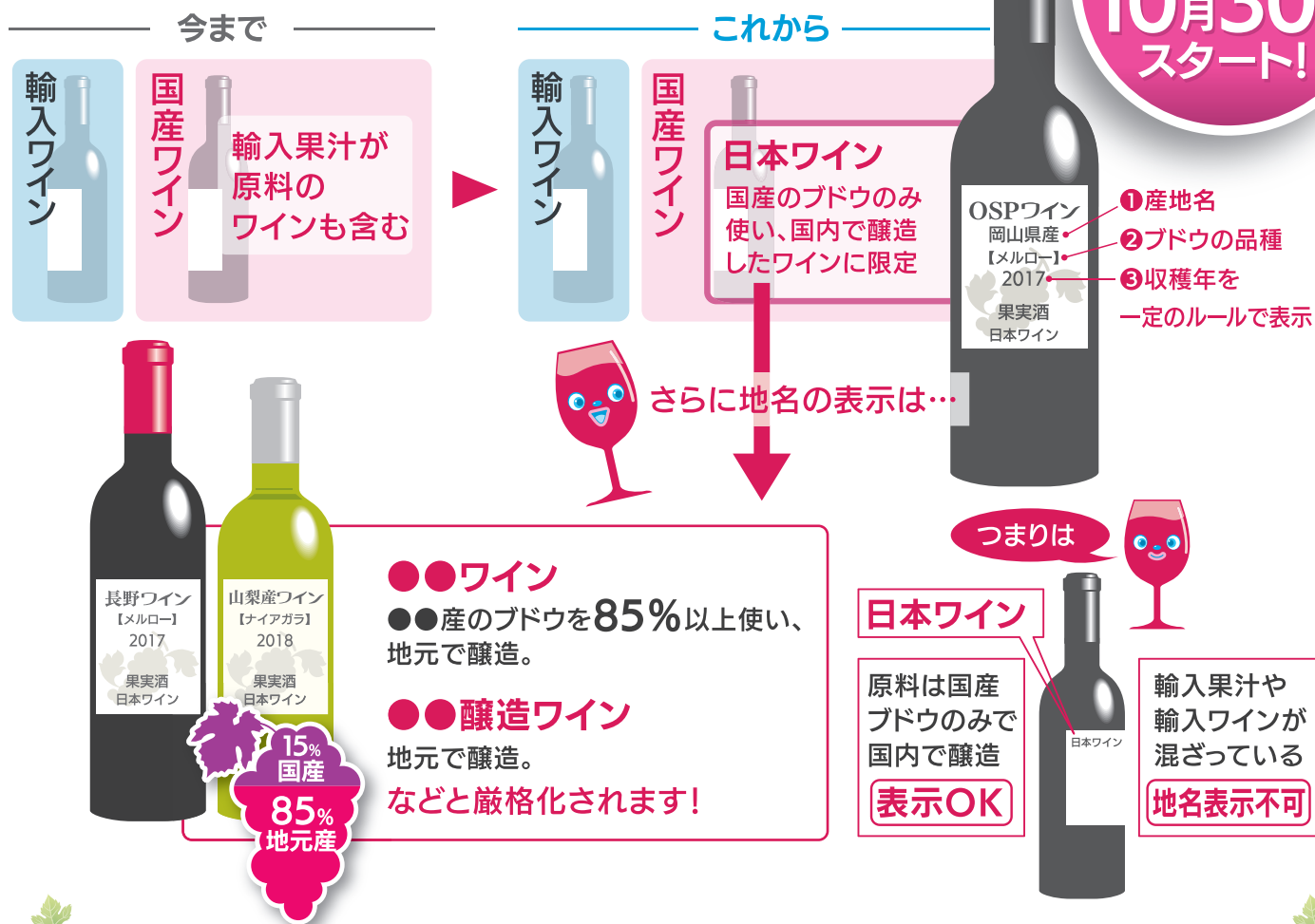


ワインの産地表示の新基準がスタート

国産ワインのラベルのポイント

新ルール
2018年
10月30日
スタート!



背景 国内にはこれまで明確なルールがなく、原料が輸入果汁でも日本産と表示ができました。

国産ワインが国際的なコンクールで入賞するなど、注目が集まる中、表示ルールを海外の主要なワイン生産国の基準に合わせることで、信頼性やブランド力を高める狙いがあります。

Q 「日本ワイン」の定義はあるの？ルールは？

A 産地名、ブドウの品種、収穫年に関してルールが設けられています。「日本ワイン」と表示するには国産ブドウを使って国内で醸造することが条件です。産地を表示する場合は地域で収穫されたブドウを85%以上使う必要があります。10月30日から適用され、罰則(50万円以下の罰金)もあるので注意が必要です。



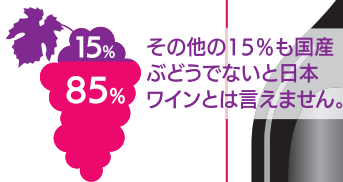
【日本ワインのラベルの表示例】

表のラベル

日本ワインに限り産地名、ぶどうの品種、ぶどうの収穫年を表示ができます。

① 産地名

- ▶ このワインの産地は 長野県です。長野県産のぶどうを85%以上使用して長野県内で醸造されました。(表示例)
「長野産」、「長野」、「長野産ぶどう使用」、「長野のワイン」etc.



② ぶどうの品種名

- ▶ シャルドネ単一の品種を85%以上使用しています。

③ ぶどう収穫年

- ▶ 同一収穫年(2017年)のぶどうを85%以上使用しています。

④ 品目名

- ▶ 酒税法上の酒類の品目は果実酒です。

⑤ 日本ワインである旨の表示

- ▶ (表示例)
・表ラベルに「日本ワイン」、「Japan Wine」etc.



裏のラベル

① 食品表示基準に基づく一括表示

② 未成年者の飲酒防止に関する表示

③ アルコールと健康等に関する表示

- ▶ ①妊産婦への注意
②消費と健康
③容器リサイクル
の3項目から任意で選択して表示。

④ 品目名

- ▶ 酒税法上の酒類の品目は果実酒です。

⑤ 日本ワインである旨の表示

- ▶ (表示例)
・裏ラベルに「日本ワイン」

具体的な表示内容についてはバックナンバーvol.337「お酒の表示2」特集を参照ください。



Q 原材料のブドウが85%以上を地元産でまかなえない場合はどう表示するの？

A 「産地名+ワイン」の商品名を表示できません。ブドウを同品種でも他産地とのブレンドする商品の場合、商品名を変更するメーカーも出てきています。

ワインの特産品化でブランドカアッパに

日本ワイン 長野のワイン
長野県で収穫したぶどうを85%以上使用して長野県で醸造したワイン

日本ワイン 長野産ぶどう使用
長野県で収穫したぶどうを85%以上使用したワイン

日本ワイン 長野醸造ワイン
長野県以外で収穫されたぶどうを使用して長野県で醸造したワイン

「長野県で収穫した以外のぶどうも●●%使用しています。」
「長野県は原料として使用したぶどうの収穫地ではありません。」
などの表示が必要です。

